

健康福祉常任委員会会議記録（概要）

平成28年5月10日（火）

開 会（午前10時0分）

【議 事】

○特定事件「保健・医療について」

産前・産後ケアについて

亀山委員長

本日の委員会の進め方について、意見があれば伺いたい。

吉村委員

これまで、視察等も含めて非常に充実した議論を続けてきた。ここで今までの議論を委員会の提言としてまとめ、6月定例会で報告するという方向で進めてはどうか。

亀山委員長

それでは、その内容について協議会を開催することとし、提言のとりまとめについては、正副委員長に一任していただくことでよろしいか。

（委員了承）

休 憩（午前10時01分）

（休憩中に協議会を開催し、意見集約を行った。）

再 開（午前11時45分）

矢作委員

ただいま皆さんのお手元に配布させていただいたとおり、提言をまとめたので、ご確認願いたい。

亀山委員長

委員会として、このとおり提言し、6月定例会において常任委員長報告
することよろしいか。

(委員了承)

【提 言】

産前・産後ケア体制の支援強化に関する提言

健康福祉常任委員会

平成26年の合計特殊出生率は、全国が1.42であるのに対し、所沢市は1.23と低い状況にあり、国の目標値の1.8に近づけるには、施策の充実が必要である。所沢市の出生数は平成8年に3,421人であったが、平成26年には2,666人にまで減少し、年齢階級別出生率では、30歳代が高く、出産年齢が上昇傾向にある。

所沢市においては、本年度から母子保健型の「子育て世代包括支援センター」（日本版ネウボラ）が設置され、ようやくスタートしたところであり、所沢市の少子化、人口減少に対応し、若い世代の出産に対する希望がかなえられるような積極的な施策が必要である。

よって、当委員会では、産前・産後ケア体制の支援強化を求め、下記の内容をもって提言とする。

記

1. 「子育て世代包括支援センター」を身近な地域にも拠点整備すること
2. 母子保健事業と母体の健康管理や母乳相談などの各々のケースに応じた産前・産後サポートの充実、産後ケアの拡充をすること
3. 母子手帳の交付を受けた全妊婦のうち、踏み込んだ支援が必要と判断された妊婦には支援プランを作成すること
4. 所沢市子どもと福祉の未来館内の各施設や、医療機関等を含む関係機関との間に連携システムを構築し、わかりやすい情報の提供に努めること

以上

亀山委員長

特定事件「保健・医療について」のうち、「産前・産後ケアについて」は、審査を終結することとしてよろしいか。

(委員了承)

散 会 (午前11時46分)